

理想の母校とは？——塾員とのつながりを求めて



慶應義塾長 伊藤公平

慶應義塾の卒業生（塾員）の皆さんにお尋ねします。理想の母校とはどのような存在でしょうか？ 名実ともに皆さんの母校であり続けるために、慶應義塾として何をすべきでしょうか？ 慶應義塾が2024年に実施した調査によれば、卒業後に慶應義塾への高い興味・関心を持ち続けている方の特徴として、行事や教員とのつながりが継続していることがありました。野球やラグビーなどの早慶戦や、その他の体育会の試合やサークルの発表会などの行事への参加や、ゼミや研究室の同窓会等を通じたつながりの継続や、自分の子や孫が慶應義塾に入学したことで親や祖父母としての母校とのつながりが再構築された方などがいらっしやいます。地域・勤務先・職域・卒業年・卒業学部別などの三田会（同窓会）に定期的に参加されて母校での懐か

しい思い出を再確認される方もいらっしゃいます。しかし、そのように積極的に母校と関わってくださっている方々からも、最近の慶應義塾がどのように発展しているかが見えにくいと指摘されます。さらに20代や30代の塾員となれば仲間たちとのSNSでのグループが卒業後も保たれ、対面で三田会に参加する方や、慶應義塾を直接訪れる方が急速に減っています。そのような方々のつながりを慶應義塾が介在する機会がなく、結果として慶應義塾が置いてきぼりになる傾向があります。こうなると母校はますます遠い存在になってしまいます。福澤先生は慶應義塾の教職員と塾生と塾員が一体となった集合体をカンパニーに例えて「社中」と呼ばれました。社中団結というのは、まさに、慶應義塾の目的である、全社会の先導者たらんことを欲するために団結して前進するつながりを指します。その目的を達成するためにも、慶應義塾から能動的に塾員の皆さんとつながる策を講じる必要があります。今の慶應義塾の発展を知っていただし、母校を誇りに感じていただくことが、私たち慶應義塾の教職員と塾生の何よりも望みであり喜びなのです。

はじめの一步

今の義塾の発展をお知らせするためのはじめの一步として、2024年8月に塾員の皆さんにはがきをお送りしました。印刷された二次元コードをスマホなどで読み込んでいただくと、私たちがお伝えしたい今の慶應義塾の一端に

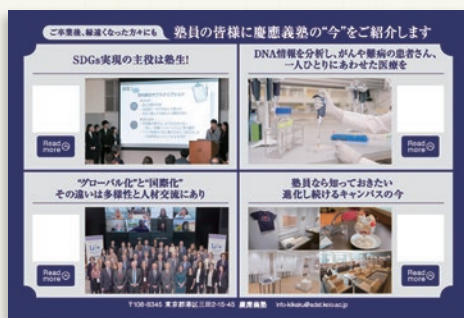
触れていただけます。また、2024年11月には「KEIO
みらいストーリーズ」と題した小冊子を塾員の皆さんのご
自宅に郵送しました。母校につながっていただきたい一心
で作成しました。

だるまさんが転んだ

はじめの一步の次は、「だるまさんが転んだ」と唱えられ
ている間に、数歩ずつ前進することです。特に若い塾員の
皆さんとつながるためには何をすればよいのか？ まだ検
討も始めていないただのアイデアですが、一つの可能性は、
将来、学生証を徹底的にIT化できないかということです。
スマホ等に格納するのか、カードのままなのも含めて、
今の塾生が卒業後は学生証を塾員証として使い続ける仕組
みを考える必要があります。例えば学生証に慶應病院の診
察券が付いていれば、卒業後には塾員証として使い続け
たい方が増えるでしょうか？ 何かのときに慶應病院ほど頼
りになるところはありません。学生証に、銀行アプリ・交
通系ICカード・クレジットカードなど、さまざまな機能・
サービスを付加できるようになると、塾員証として卒業後
も使い続けてくださる卒業生が増えるかもしれません。塾
員証を活用し続けるために、塾員向けの慶應アプリを用意
すれば、塾員の皆さんに慶應義塾の今を定期的に発信でき
ます。塾生のための著名人や教員による講演会、コンサ
ートや展覧会や早慶戦などのスポーツイベントを塾員の皆さ
まにお知らせして招待できます。2023年のOpenAI社
のサム・アルトマンCEOの講演会ときは塾員からの聴
講希望が殺到しました。図書館の利用もサービス内容を工

夫すれば提供できるかもしれません。街中や旅先でお腹が
すいたときには、慶應アプリで塾生や塾員が営むお店を紹介
してもらい、地図アプリが連動して連れて行ってくれる
かもしれません。そして慶應義塾が介在するからこそ、安
心して塾員同士がつながる仕組みも作れるかもしれません。
信頼性を高めるためには、マイナンバーカードなどによる
個人認証を採用することが検討できます。要は、塾員の皆
さんが慶應義塾から背を向けている、すなわち「だるま
さんが転んだ」と唱えている間に、私たち慶應義塾が皆さん
に一歩でも近づく工夫を重ねることが大切なのです。その
ためのアイデアを塾員の皆さんからも頂戴したくお願いい
たします。

今後も慶應義塾からさまざまなお知らせをお届けします。
そこから母校の今を感じ取り、慶應義塾につながってくだ
さることをお願いいたします。



2024年8月にお送りしたはがき
(空白部分に二次元コードの入ったものをお送りしています)



慶應義塾の“今”に迫る
特設サイトはこちらから
ご覧ください。



未来に向けたアイデア、ご意見は
こちらからお寄せください。